

法蔵館
文庫

〈方法〉としての思想史

思想史

やすまる よしお
たにがわ
安丸良夫著、谷川 穰

ゆたか
穰解説

安丸史学が対峙し、目指したものは。自身の研究を回顧・省察した論考を中心に収め、その思想的格闘の軌跡を示す。歴史学徒必読の名著。

2021年5月刊行



▼文庫判・並製カバー・368頁・定価 一、四三〇円

【目次】

はしがき

第I部 方法への模索

- 一 日本マルクス主義と歴史学
- 二 方法規定としての思想史
- 三 『明治精神史』の構想力
- 四 「民衆思想史」の立場
- 五 思想史研究の立場——方法論的検討をかねて
- 六 前近代の民衆像
- 七 民衆史の課題について
——井上幸治『近代史像の模索』・林英夫『絶望的近代の民衆像』を読む
- 八 史料に問われて
- 九 文化の戦場としての民俗

第II部 状況への発言

- 十 日本史研究にもっとと論争を！
- 十一 歴史研究と現代日本との対話
——「働さすぎ」社会を手がかりに
- 十二 日本の近代化についての帝国主義的歴史観

- 十三 反動イデオロギーの現段階
——歴史観を中心に
- 十四 近世思想史研究と教科書裁判
——原告側補佐人として出廷して

解説 『〈方法〉としての思想史』を読む、
それぞれの意味 (谷川 穰)

◆著者・解説者略歴

安丸良夫(やすまるよしお)

一九三四年富山県に生まれる。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。名城大学法商学部助教授を経て、一橋大学教授、早稲田大学大学院客員教授を歴任。二〇一六年歿。著書に『日本の近代化と民衆思想』(青木書店、のち平凡社ライブラリー)、『神々の明治維新』(岩波書店)など多数。

谷川 穰(たにがわゆたか)

一九七三年京都市生まれ。二〇〇二年京都大学大学院文学研究科博士後期課程学修認定退学。現在、京都大学大学院文学研究科教授。専門は日本近代史。著書に『明治前期の教育・教化・公教』(思文閣出版、二〇〇八年)、共編著に『講座明治維新II 明治維新と宗教・文化』(有志舎、二〇一六年)、『甲子園の眺め方——歴史としての高校野球』(小笠子社、二〇一八年)など。

注文書	様冊
(書店印)	ご担当
法蔵館	定価一、四三〇円
安丸良夫著、谷川穰解説 〈方法〉としての思想史 【法蔵館文庫】	住所
ISBN: 978-4-8318-2622-0 C1121	お名前
	お電話

ご注文はFAX: 075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp